

業務名称：2022年度-2024年度デジタルコンテンツ制作業務（ウェブサイト掲載記事等・翻訳校閲・写真/動画撮影）
 （公告/公示日：2021年11月19日/調達管理番号：（21a00969））について、意見招請実施要項に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
 調達・派遣業務部長(契約担当)

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 5	5. (1) ②	英語記事(年間約30本)のうち「日本語記事を再編集(翻訳)する場合」と、「英語独自の記事を取材、作成する場合」の本数の想定比率を教えてください。	英語独自の記事については、四半期ごとに1本を目途とし、年間で4本を想定していますが、変更の場合もあります。
2	P. 5	5. (1) ②	・「日本語記事を再編集(翻訳)する場合」 ・「英語独自の記事を取材、作成する場合」 それぞれの想定文字数や写真枚数を教えてください。	現在、英語ウェブサイトで、「From the filed」と記載されている記事が本業務の英語記事に該当します。概ね1500w、写真5枚程度です。ただ、ウェブサイトのリニューアルを控え、記事の体裁や長さについても変更する可能性があります。
3	P. 5	5. (1) ③	記事以外の広報素材やデジタルコンテンツの制作を実施するとありますが、こちらは見積金額内訳書の中にある「直接経費(広報素材編集経費)」が該当するという認識であっておりますでしょうか	はい、ご認識の通りです。
4	P. 5	5. (1) ④	本業務では記事掲載作業は御機指のCMS入力作業は発生するが、記事ごとにHTMLでのコーディングを行いデータ納品をする作業は発生しないという認識であっておりますでしょうか	はい、ご認識の通りです。
5	P.22	見積金額内訳書	デジタルコンテンツ(英語記事)の翻訳費については、見積項目の「日英翻訳」に充当するでしょうか?それとも英語記事の翻訳費は「英語記事作成」の中に含めた想定で算出となりますでしょうか?	英語記事の翻訳費は、英語記事制作の中に含めて下さい。
6	P. 3	2. 2022年9月に予定するJICAウェブサイトリニューアル	本デジタルコンテンツ制作業務のうち、ウェブサイトリニューアルに関してレイアウトデザイン提案と変更実施がございしますが、合わせてウェブサイト全体の構築変更(サイトマップの変更)もリニューアル要件として検討されておりますか。その場合、構築変更も本業務に含まれるのでしょうか。または別業務として委託先を選定される、あるいは現状の委託先が実施することとなりますか。	ウェブリニューアルについて、ウェブ全体の構築変更等は、別業務として委託先を選定致します。本業務ではウェブリニューアルの際、レイアウトデザインの提案等で、ウェブ全体のリニューアルを担当する別業者と、必要に応じて協議頂くことを想定しています。
7	P. 4	5. (1) キ 漫画や動画等を活用することも可	訴求力向上のため、漫画や動画等を活用することも可とありますが、著名人やキャラクターの起用を提案に含めることは可能ですか。他、広報業務においても著名人の起用があるかと思しますので、業務における棲み分けがございましたらご教示ください。	著名人やキャラクターの起用を提案に含めることは可能です。
8	P. 4	5. (1) ①カ	約500字のニュース記事(24本)は取材は必要でしょうか?正確な見積もりが出せません。	約500字のニュース記事は、主に資料等から記事を制作する形を想定しています。
9	P. 4	5. (1) ①カ	約500字のニュース記事(24本)は写真ありでしょうか?正確な見積もりが出せません。	約500字のニュース記事の写真は、主にJICA側から提供することを想定しています。
10	P. 5	5. (1) ③	「ウェブサイトに掲載する記事以外の広報素材やデジタルコンテンツ(インフォグラフィック、パンフレット等も含む)」は年間何本想定でしょうか?正確な見積もりが出せません。	回答No. 3のとおり。
11	P. 5	5. (2)	「仏語、西語といった言語への翻訳・校閲」は最大年間何本想定でしょうか?正確な見積もりが出せません。	緊急の場合など、必要に応じて発生する業務のため、現段階で本数は想定できませんが、昨年度実績は、英語約1500wの西語、仏語への翻訳1件のみで、こちらを参考願います。
12	P. 5	5. (2) ア	「広報部が日英で作成したウェブサイト掲載用記事(ニュースリリース、プレスリリース含む)」の本数は、「日英翻訳(通常発注)180頁」と「日英翻訳(特急発注)100頁」のことででしょうか?正確な見積もりが出せません。	はい、日英翻訳(通常発注)180頁、日英翻訳(特急発注)100頁に加え、英文校閲(通常発注)70頁、英文校閲(特急発注)40ページも含まれます。
13	P. 5	5. (2) イ	「広報部が日英で作成したSNS 掲載用記事」の年間想定本数を教えてください。正確な見積もりが出せません。	こちらの業務は、5. (4) イに含むこととします。
14	P. 5	5. (2) ウ	「広報部が日英で作成した写真および動画用キャプション」の年間想定本数を教えてください。正確な見積もりが出せません。	本業務は、日英翻訳(通常発注)180頁、日英翻訳(特急発注)100頁に加え、英文校閲(通常発注)70頁、英文校閲(特急発注)40ページに含むこととします。参考までに、現在、動画用の英語翻訳は、基本的にJICA側で実施しています。
15	P. 5	5. (2) エ	「広報部が日英で作成したパンフレット、ポスター、冊子等」の年間想定本数を教えてください。正確な見積もりが出せません。	基本的に直接経費の枠内で制作を考えています。
16	P. 6	5. (3) ②	動画撮影/編集(広報部からの指示に応じ、JICAの広報活動に使用する動画の撮影、編集を行う)の年間想定本数を教えてください。正確な見積もりが出せません。	年間業務想定量は、写真撮影50回、動画撮影30日、動画編集(簡易)30日、動画編集(テロップ、音声あり)30日となります。
17	P. 8	5. (4) ア	「(1)~(3)で制作した日英コンテンツについて、広報部が指示したもの」の年間想定本数を教えてください。正確な見積もりが出せません。	拡散やターゲットへの訴求の度合いによるため、現時点では本数の想定はできませんが、他の項目との予算を鑑みながら、双方合意の上、進めていくものとします。
18	P. 8	5. (4) ア	「効果的に拡散するための手法を企画・検討し実施すること」仕様書に目標値や比較対象が明示されていません。これでは費用対効果の指標をもつ既存事業者しか効果的な提案はできません。判断するため、現在の広報手法、それにかかる経費、現在の数値目標を教えてください。	「効果的に拡散するための手法を企画・検討し実施すること」が、これまで実施していないので、「現在の広報手法、それにかかる経費、現在の数値目標」を示すことはできません。
19	P. 8	5. (4) ア	「効果的に拡散するための手法を企画・検討し実施すること」コンテンツごとにテーマやターゲットが異なるかと推察する。効果的な拡散を仕様書で求める以上、テーマに合わせた企画と配信手法を行うべきで、想定されるテーマをいくつか教えてください。	ウェブサイトで扱う記事については、今後、大幅なテーマの入れ替えは想定していません。そのため、想定されるテーマについては、ウェブサイトで公開されている記事を参考にしてください。
20	P. 8	5. (4) イ	広報部公式SNS(Facebook、Twitter及びLinkedIn)への投稿文は英語訳も必要でしょうか?	日本語と英語の投稿文を想定しています。
21	P. 8	6. 業務実施体制	国際協力・ODAといった活動に精通した国際報道に従事する社員(JICAの外部委員を務めている)をアドバイザーに据えることは、体制上評価されるか?	評価します。
22	P. 12	1. プロポーザルの構成と様式	「合計で15 ページ以内」とあるが、ページ数の上限をなくしていただきたい。評価表をみると32点/100点と業務経験と体制の比重がとても高く、業務経験を持つ既存事業者が圧倒的に有利な配点になっている。新規事業者が本事業を受託するためには、業務実施方針、業務実施方法で挽回する必要がある。深い考察と説得力のある内容を提案書に落とし込む必要がある。提案書のページ制限はなくしていただきたい。制限を設けるにしても、提案書の見やすさを担保するために40ページ程度までは許容いただきたい。	検討の上、公示時にページ数を確定します。
23	P. 13	(2) 業務実施方針	「これまでの関連業務の課題を抽出する」とある。デザイン、文章、写真、動画といった公開されている成果物の課題を抽出することはできても、関連業務の課題は既存事業者しかわからない。新規事業者では知れない情報のため、関連業務の課題は、発注者が抽出するべきと考える。このプロポーザルの公平性を担保するためにも、例えこの一文を削除したとしても、業務上の課題は抽出をお願いしたい。	ウェブサイトで公開されている成果品(記事等)から読み取れる範囲の課題を抽出してください。既存事業者と比較優位性ははありません。記載については、検討の上、公示時に確定します。
24	P. 14	2. (3) 1) ア.	提案で求められている「ウェブサイト・トップページにおけるトピックス記事欄のレイアウトデザイン」は、トップページのデザインを求めているわけではないという認識を持った。記事欄にある個別記事へのリンクのレイアウトという認識でよいのか?仮に、トップページのレイアウトを指している場合、トップページのデザインは、本事業のスコープ外であり、提案を求めるとは不適切と考える。別契約の事業者を混乱させ、情報設計を崩壊させる一因にもなりうるため、注意が必要と患慮する。	トピックス記事欄のレイアウトデザインは、ご指摘の通り、記事欄にある個別記事のレイアウトになります。本業務ではウェブリニューアルの際、レイアウトデザインの提案等で、ウェブ全体のリニューアルを担当する別業者と、必要に応じて協議頂くことを想定しています。記載については、検討の上、公示時に確定します。
25	P. 14	2. (3) 1) ア.	個別のトピックス記事のデザインを提案するよう求めているが、「P5④で、記事の掲載作業については、CMS上で受注者が行うことを想定する」と明示されている。この事業ではhtmlで作業しない認識だが、提案で求めているのはなぜか?CMSのデザインフォーマットがわからない中で、個別にページを起こすと、サイト全体の統一感を毀損しかねない。情報設計の崩壊を招く一因になりかねないため、注意が必要と患慮する。	現在、ウェブリニューアルを担当する別業者を選定中のため、CMSのツールについても未決定です。但し、現時点で、より質の高い記事の見せ方を考える所、ページの見せ方やレイアウトへの工夫を示して頂ければと思います。記載については、検討の上、公示時に確定します。
26	P. 14	2. (3) 1) ア.	レイアウトデザインはPCのみでしょうか?SP版も必要でしょうか?	リニューアルまでは、日本語サイトはレスポンス対応、英語サイトはPC版とモバイル版が必要です。リニューアル後は、日本語サイト・英語サイトとも、レスポンス対応となります。
27	P. 15	2. (3) 2) ア.	ウェブサイトへの流入目標数を教えてください。例) 月間PV、女性比率〇%など	現在、ウェブリニューアルを担当する別業者を選定中です。ウェブサイトリニューアルとの関連性が高いことから、現在は未設定です。リニューアル時に、双方同意のもと、設定の予定です。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
28	P. 19	見積書作成及び支払について(案)	請負金額に上限設定はあるか？また、コンペでは金額への評価点も付くのか？	予算規模(上限金額)は公示時に掲載いたします。見積金額への評価はつかず、予算規模(上限金額)内のご提案をお願いします。
29	P. 7	業務内容：日本語記事作成項目	特集記事とニュース記事は内容が明確であれば、本数の換算方法が分かりづらいため、セルを分けるのはいかがでしょうか。	特集記事とニュース記事の想定数は現時点では確定していないため、セルを分けることは考えていません。
30	P. 7	各成果物の参考	成果物のイメージの認識合わせとして、成果物の参考URLを記載する等はいかがでしょう。	成果物はすべてウェブサイト公開しています。
31	P. 8, 12	P. 12 (5) 業務従事者の経験・能力	委託契約の場合、委託者から受託者(社)への作業指揮命令はないと思いますが、プロポーザルの評価項目として担当者の能力ではなく、受託候補者(社)の実績についての評価に変更するのはいかがでしょうか。	本件業務遂行のためには、社及び業務従事者の双方の能力を評価する必要があると考えているため、両方の評価を行います。
32	P. 10	成果品	成果品としてCD/DVDでのデータ提出の指示があるが、何枚提出すればよいのか。	すべて電子データでの提出とし、公示時に加筆・修正します。
33	P. 18	評価項目	事前に見積もりを取るのであれば、金額に応じて配点をつけるのはいかがでしょうか。	見積金額への評価はつかず、ご提案いただくプロポーザルに対して評価を行います。
34	P. 4	①ウェブサイトに掲載する特集記事	特集記事の掲載場所は、現在のトピックス記事を想定していますでしょうか。もしくは、ウェブサイトリニューアルをご予定されていると思いますが、新しいコーナーを新設されるイメージでしょうか。	現在のトピックス記事を想定していますが、ウェブリニューアル時に変更となる可能性もあります。
35	P. 5	②ウェブサイトに掲載するNews記事制作	英語記事の文量は、日本語の特集記事を想定すればよいでしょうか。	はい、ご認識の通りです。
36	P. 5	④レイアウトデザイン	ウェブデザインの提案は、CMSで可能な範囲のデザインになると思いますが、CMSはどのツールを想定していますでしょうか。	現在、ウェブリニューアルを担当する別業者を選定中のため、CMSのツールについても未決定です。
37	P. 22	見積金額	選定方法は、入札競争はなく、予算のご提示があり、プロポーザル及びお見積りの提出による企画競争という理解でよかったですでしょうか。	はい、ご認識の通りです。
38	P. 3	2022年9月に予定するJICAウェブサイトのリニューアル	流入および読者拡大が目的と記載ありますが、その他リニューアルの目的があれば教えてください。ただければ幸いです。 (例) ①サイトブランディングの向上 ②既存コンテンツの整理などUIの向上 ③ビジュアルイメージの変更など リニューアル後にアプローチを強化したい読者層のイメージがあれば教えてください。	現在、ウェブリニューアルを担当する別業者を選定中のため、言及することができません。ウェブリニューアルに関する契約の公示時に詳細をご確認ください。
39	P. 5	④レイアウトデザイン	PC用とスマホ用の2種類を制作するという認識でよろしいでしょうか。	リニューアルまでは、日本語サイトはレスポンス対応、英語サイトはPC版とモバイル版が必要です。リニューアル後は、日本語サイト・英語サイトとも、レスポンス対応となります。